

# 中学入試ガイドンス

## 1. 入試概要

### ◆ 帰国枠入試日程

#### ■ 首都圏《東京都・神奈川県》

私立中学校の一般入試の解禁日は2月1日ですが、帰国枠入試はそれ以前に実施することが可能です。この解禁日以前に入試を行っている中学校は、海外・帰国生の独自入試を一般入試と切り離して実施しています。その他の中学校は、2月1日以降の一般入試と同じ日程になります。入試日程をうまく調整すれば幅広く受験校を選択することができますが、合格発表日の数日後に手続き締切日になる学校もありますので、その日程もスケジュールに組み込んでおく必要があります。また、人気校の競争率は一般入試よりも高くなることもありますので、しっかりとした受験準備が必要になります。

帰国枠入試で受験する場合は、各中学が定めた条件資格をクリアしていることが必要になりますので、募集要項などで確認してください。判断が難しい場合は、受験校にお問い合わせください。

以下は一般入試と別日程で帰国枠入試を実施している主要中学校(◎がある学校は2023年度の日程)になります。

#### 《10月・11月実施校》

男子校	共学校・別学校	女子校
《東京都》		
佼成学園① 聖学院	◎開智日本橋学園① かえつ有明_A選考・R選考 青稜① 工学院大学附属① サレジオ国際学園① 実践学園 サレジオ国際学園世田谷① 芝国際① 自由学園① 千代田国際 東京成徳大学 広尾学園小石川AG① 文化学園大学杉並① 三田国際学園① 武蔵野大学 目白研心①	江戸川女子 大妻多摩 大妻中野① 共立女子 神田学園① 国本女子① 麹町学園女子 佼成学園女子① 実践女子学園① 品川女学院 昭和女子大学附属昭和 女子聖学院 聖ドミニコ学園 東京女子学院① 富士見丘① 三輪田学園 山脇学園①
《神奈川県・埼玉県》		
	開智	鎌倉女学院 横浜女学院①

#### 《12月実施校》

男子校	共学校・別学校	女子校
《東京都》		
学習院 暁星 京華 佼成学園② 立教池袋	郁文館 ◎開智日本橋学園② かえつ有明_H選考 帝京 啓明学園 工学院大学附属② 駒込① 芝浦工業大学附属 サレジオ国際学園② サレジオ国際学園世田谷② 芝国際② 淑徳 淑徳巣鴨 順天① 城西大学附属城西① 聖徳大学① 成城学園 玉川学園_IB ドルトン国際学園① 東京都市大学等々力 広尾学園 広尾学園小石川AG② 文化学園大学杉並② 文教大学付属 三田国際学園② 宝仙学園理数インター① 明星学園 目白研心② 八雲学園	跡見学園 大妻 大妻中野② 神田学園② 北豊島① 京華女子 佼成学園女子② 実践女子学園② 中村 頌栄女子学院① 聖心女子学院 ◎玉川聖学院① 田園調布学園 東京家政大学附属女子 東京女学館 東京女子学院② 桐朋女子_A① トキワ松学園① 日本大学豊山女子 富士見丘② 山脇学園② 文京学院大学女子_A①・A② 立教女学院
《神奈川県・千葉県・埼玉県》		
逗子開成 藤嶺学園藤沢	市川① 神奈川学園 神奈川大学附属 関東学院 昌平 関東学院六浦① 光英 VERITAS 自修館中等教育 西武台新座 西武台千葉 聖ヨゼフ学園 日本大学 東邦大学付属東邦 森村学園 横須賀学院	大妻嵐山 鎌倉女子大学① カリタス女子① 相模女子大学 湘南白百合学園 聖セシリア女子 聖和学院① 清泉女学院① 捜真女学校① 聖園女学院 緑ヶ丘女子 横浜女学院② 横浜雙葉

#### 《1月実施校》

男子校	共学校・別学校	女子校
《東京都》		
海城 攻玉社 高輪 佼成学園③ 明法 東京都市大学付属	東京都立立川国際 東京都立白鷗高等学校附属 穎明館 工学院大学附属③ 國學院大学久我山 渋谷教育学園渋谷 サレジオ国際学園③ サレジオ国際学園世田谷③ 城西大学附属城西② 聖徳大学② ◎成蹊 青稜② 中央大学附属 ドルトン国際学園② 文化学園大学杉並③ 武蔵野東①	学習院女子 北豊島② 国本女子② 佼成学園女子③ 白百合学園 東京女子学院③ 桐朋女子_A②
《神奈川県・千葉県》		
聖光学院	関東学院六浦② 公文国際学園 渋谷教育学園幕張 相洋 桐蔭学園中等教育 桐光学園 法政大学第二	函嶺白百合学園 清泉女学院② 聖和学院② 洗足学園

## ◆ 帰国生入試選抜方法

国・私立中学の一般入試の科目は、国語・算数・社会・理科の4教科、国語・算数の2教科となります。帰国生入試では、一般入試と同様の4教科や2教科、一般入試とは異なる4教科や2教科(作文を含む場合もあり)、2教科に英語を加えた3教科、英語のみの1教科など、帰国生入試の入試科目は多種多様です。

以下は、一般入試とは別日程の主要中学校の4科目以外の学校で、2024年度および2023年度入試における入試科目(面接試験は除く)の一覧です。各学校の入試要項で確認しておいてください。

■ **首都圏** ※「作文」は日本語作文・小論文、「英作」はEssay・Story Writingなどを表しています。

《**東京都**》 ◎がついている学校は、2023年度の入試科目を表しています。

学校名	入試科目	学校名	入試科目
◎お茶の水女子大学附属	「筆答」	昭和女子大学附属昭和	「国語・算数」or「国語・算数・英語」
東京学芸大学附属国際	A:「作文」or「英作」 B:「適正検査」	女子聖学院	「算数・作文」
東京都立立川国際・白鷗	「作文」or「英作」	白百合学園	「国語・算数・外国語(英語 or 仏語)」
跡見学園	「国語・算数・作文」	聖学院	「英作」or「思考力」
郁文館	「英語」	◎成蹊(国際学級)	「国語・算数・英語」
穎明館	「国語・算数」	成城学園	「国語・算数」
江戸川女子	「英語」or「基礎学力(国語・算数)・英語」 「基礎学力(国語・算数)」	聖心女子学院	「国語・算数」
大妻	「国語・算数・英語」から2科目	聖ドミニコ学園	「英語・作文」
大妻多摩	「計算・作文」or「計算・英語」	青稜	「国語・算数」or「国語・算数・英語」
大妻中野	「国語・算数」or「英語」	高輪	「国語・算数」or「国語・算数・英語」
海城	「国語・算数」or「国語・算数・英語」	玉川学園(IB)	「算数・英語・作文」
◎開智日本橋学園	「国語・算数・Essay」	玉川聖学院	「国語・算数」
かえつ有明	「英語(英作含む)・作文」or「国語・算数」	中央大学附属	「国語・算数」
学習院	「国語(作文含む)・算数」	千代田国際	「国語・算数」or「英作」
学習院女子	「国語・算数・作文」or「国語・算数・英作」	帝京	「英語・作文」
神田女学園	「国語・英語」	田園調布学園	「国語・算数」or「算数・英語」or「算数」
暁星	「国語・算数・英語」or「国語・算数・仏語」	東京家政大学附属女子	「国語・算数・英語」から2科目+「作文」
共立女子	「国語・算数」or「算数・英語」	東京女学園	「国語・算数」or「算数・英語」
国本女子	「国語・算数」or「国語・英語」or「英語」	東京女子学院	「国語・算数・英語」から2科目
京華	「国語・算数」or「算数・英語」	東京成徳大学	「国語・算数」or「算数・英語」
京華女子	「国語・算数・英語」から2科目	東京都立大学等々力	「国語・算数・作文」or「算数・英語・作文」
啓明学園	「国語・算数」or「英語・作文・英作」or 「英語・作文・外国語作」	東京都立大学付属	「国語・算数」or「国語・算数・英語」or 「算数・英語・作文」
工学院大学附属	「英語」or「国語・算数・英語」から2科目	桐朋女子	「作文(英語 or 仏語 or 独語)」
攻玉社	「国語・算数」or「英語」	ドルトン東京学園	「国語・算数」or「作文(日本語 or 英語)」
麹町学園女子	「英語」	広尾学園	AG「国語・算数・英語」 SG「国語・算数」
佼成学園	「面接のみ」	広尾学園小石川	AG「国語・算数・英語」 SG「国語・算数」
佼成学園女子	「国語・算数」or「英語・イングリッシュ」	富士見丘	「英作・作文」or 「国語・算数・英語」から2科目
國學院大学久我山	「国語・算数」or「算数・英語」	文化学園大学杉並	「国語・算数」or「国語・算数・英語」or 「英語・作文(日本語 or 英語)」
駒込	「算数・作文」or「算数・英作」	文京学院大学女子	「英語」or「国語・算数」or「国語・英語」
サレジオン国際学園	「国語・算数」or「英語・Essay」	文教大学付属	「算数」or「国語・算数」
サレジオン国際学園世田谷	「国語・算数」or「英語・Essay」	宝仙学園理数インター	「国語・算数」or「算数・英語」
実践学園	「国語・算数」	三田国際学園	「英語」or「国語・算数・英語」
実践女子学園	「算数」	明星学園	「算数・作文」
品川女子学院	「国語・算数」	三輪田学園	「算数・作文」or「算数」
芝浦工業大学附属	「国語(作文含む)・算数」	武蔵野大学	「国語・算数」
芝国際	「国語・算数・英語」	武蔵野東	「国語・算数」or「算数・英語」
渋谷教育学園渋谷	「国語・算数・英語」or「国語・算数・作文」	明法	「国語・算数」
淑徳	「国語・算数」	目白研心	「英語」or「国語・算数」
淑徳巣鴨	「国語・算数・英語」	八雲学園	「国語・算数」or「算数・英語」
順天	「算数・英語・作文」or「算数・英語」	山脇学園	「国語」or「算数」or「国語・算数」
頌栄女子学院	「英語」or「国語・算数・英語」	立教池袋	「国語・算数」
城西大学附属城西	「国語・算数」or「国語・算数・英語」	立教女学院	「国語・算数・作文」
聖徳学園	「国語・算数・英語」から2科目		

## 《神奈川県》

学校名	入試科目
神奈川学園	「国語・算数・英語」or「国語・算数・作文」
神奈川大学附属	「算数・英語」
鎌倉女学院	「作文・英作」
鎌倉女子大学	「作文(自己PR)」
カリタス女子	「算数・英語・作文」or「算数・仏語・作文」
関東学院	「国語・算数」or「算数・英語」
関東学院六浦	「算数・作文」
函嶺白百合学園	「国語・算数・英語」から1科目
公文国際学園	「英語・適性検査」
相模女子大学	「国語・算数・作文」or「算数・英語・作文」
自修館中等教育	「国語・算数・英語」から2科目
湘南白百合学園	「国語・算数」or「国語・算数・英語」
逗子開成	「国語・算数」or「算数・英語」
聖光学院	「国語・算数」or「算数・英語」
聖セシリア女子	「国語・算数・英語」から2科目 or「適性検査」
清泉女学院	「算数・作文」or「英語・作文」
聖ヨゼフ学園	「算数」

## 《千葉県》

学校名	入試科目
◎千葉大学教育学部附属	「作文」
市川	「国語・算数・英語」

## 《埼玉県》

学校名	入試科目
大妻嵐山	「総合(国語・算数)」
開智	「国語・算数・Essay」

学校名	入試科目
聖和学院	「英語」
洗足学園	「国語・算数・英語(英会話含む)」or 「英語(英会話含む)」
捜真女学校	「国語・算数」
相洋	「国語・算数」
桐蔭学園中等教育	「国語・算数」or「算数・英語」
桐光学園	「国語・算数・英語」から2科目
藤嶺学園藤沢	「国語・算数」
日本大学	「国語・算数」or「算数・英語」
法政大学第二	「国語・算数」
聖園女学院	「算数・作文」or「算数・英作」
緑ヶ丘女子	「英語」
森村学園	「国語・算数」or「国語・算数・英語」
横須賀学院	「国語・算数」
横浜女学院	「国語・算数・作文」or「国語・英語・作文」 「算数・英語・作文」
横浜雙葉	「算数・作文」or「算数」

学校名	入試科目
渋谷教育学園幕張	「英語(英作含む)」
東邦大学付属東邦	「国語・算数・英語」

学校名	入試科目
昌平	「国語・算数」or「英語・作文」
西武台新座	「面接のみ」

## ◆ 帰国枠入試の主要中学受験状況

入試の難易度は、まずは入試科目およびその入試科目の問題のレベルもありますが、実質倍率も影響を与えます。以下は、過去2年間の実質倍率(10名以上受験)が2倍以上という高倍率の中学校一覧です。

### ■ 首都圏 《東京都》

2022年度				2023年度			
学校名	受験数	合格数	倍率	学校名	受験数	合格数	倍率
東京学芸大学附属国際(A方式)	176	34	5.18	早稲田	14	2	7.00
東京学芸大学附属国際(B方式)	161	33	4.88	三田国際学園(IC:2回)	136	20	6.80
渋谷教育学園渋谷(国算英)	121	26	4.65	渋谷教育学園渋谷(国算英)	103	21	4.90
國學院大學久我山	17	4	4.25	芝国際(1回:2科:Core)	28	6	4.67
広尾学園(SG)	322	78	3.93	東京学芸大学附属国際(A方式)	154	34	4.53
広尾学園(AG)	287	73	3.93	東京学芸大学附属国際(B方式)	141	34	4.15
海城(A方式)	125	35	3.57	広尾学園(AG)	296	72	4.11
渋谷教育学園渋谷(国算作)	114	32	3.56	渋谷教育学園渋谷(国算作)	104	26	4.00
広尾学園小石川(AG:1回)	236	71	3.32	海城(B方式)	71	18	3.94
海城(B方式)	68	21	3.24	獨協	19	5	3.80
開智日本橋学園(1回)	154	49	3.14	三田国際学園(IC:1回)	186	52	3.58
開智日本橋学園(2回)	54	20	3.14	海城(A方式)	122	36	3.39
立教池袋	98	33	2.97	広尾学園(SG)	261	77	3.39
広尾学園小石川(SG:本科)	196	69	2.84	広尾学園小石川(1回:AG)	244	72	3.39
三田国際学園(1回)	278	99	2.81	芝国際(1回:3科:Advanced)	10	3	3.33
中央大学附属	28	10	2.80	中央大学附属	32	10	3.20
三田国際学園(2回)	131	47	2.79	開智日本橋学園(1回)	146	48	3.04
暁星	44	17	2.59	かえつ有明(Regular選考)	103	36	2.86
広尾学園小石川(AG:2回)	165	65	2.54	山脇学園(プレゼン)	155	57	2.72
かえつ有明(Regular選考)	128	52	2.46	三田国際学園(ISC:2回)	31	12	2.58
ドルトン東京学園(2回)	17	7	2.43	立教池袋	78	31	2.52
江戸川女子	21	9	2.33	広尾学園小石川(SG・本科)	166	67	2.48
頌栄女子学院(2月)	25	12	2.08	広尾学園小石川(2回:AG)	166	61	2.27
学習院女子	40	20	2.00	東京都市大学附属(A方式)	93	41	2.27
攻玉社(英語)	84	42	2.00	開智日本橋学園(2回)	47	21	2.24
				青稜	71	34	2.09
				頌栄女子学院(2月)	14	7	2.00

### 《神奈川県》

2022年度				2023年度			
学校名	受験数	合格数	倍率	学校名	受験数	合格数	倍率
青山学院横浜英和	18	4	4.50	聖光学院	158	35	4.51
聖光学院	144	35	4.11	青山学院横浜英和	16	6	2.67
慶應義塾湘南藤沢	148	41	3.61	慶應義塾湘南藤沢	106	40	2.65
逗子開成(英・算)	17	7	2.43	逗子開成(英・算)	13	6	2.17
洗足学園(B方式)	85	36	2.36	逗子開成(国・算)	44	21	2.10
桐蔭学園中等教育	55	24	2.29	サレジオ学院	28	14	2.00
逗子開成(国・算)	44	21	2.10	洗足学園(B方式)	80	40	2.00
洗足学園(A方式)	84	40	2.06				
公文国際学園	33	16	2.06				
神奈川大学附属	32	16	2.00				

## 《千葉県・埼玉県》

2022年度				2023年度			
学校名	受験数	合格数	倍率	学校名	受験数	合格数	倍率
渋谷教育学園幕張	170	35	4.86	麗澤	12	2	6.00
立教新座	14	3	4.67	渋谷教育学園幕張	137	34	4.03
市川(12月)	84	39	2.15	栄東	15	4	3.75
栄東	17	8	2.13	市川(12月)	100	47	2.13
				市川(1月)	61	30	2.03

以下は、受験者が多い学校(複数回受験者を含む)が50名以上という中学校一覧です。

## ■ 首都圏 《東京都》

2022年度				2023年度			
学校名	受験数	合格数	倍率	学校名	受験数	合格数	倍率
広尾学園	609	151	4.03	広尾学園小石川	576	200	2.88
広尾学園小石川	597	205	2.91	広尾学園	557	149	3.74
かえつ有明	591	361	1.64	かえつ有明	492	320	1.54
三田国際学園	409	146	2.80	三田国際学園	445	148	3.01
東京学芸大学附属国際	337	67	5.03	芝国際	326	201	1.62
東京都市大学付属	276	151	1.83	山脇学園	309	140	2.21
渋谷教育学園渋谷	246	58	4.24	東京学芸大学附属国際	295	68	4.34
山脇学園	220	162	1.36	東京都市大学付属	275	135	2.04
開智日本橋学園	208	69	3.01	渋谷教育学園渋谷	207	47	4.40
東京都市大学等々力	197	135	1.46	青稜	205	121	1.69
海城	193	56	3.45	海城	193	54	3.57
青稜	181	109	1.66	開智日本橋学園	193	69	2.80
頌栄女子学院	170	97	1.75	東京都市大学等々力	166	122	1.36
攻玉社	136	71	1.91	頌栄女子学院	131	87	1.51
共立女子	132	98	1.35	大妻中野	121	106	1.14
大妻	102	66	1.55	共立女子	97	63	1.54
文化学園大学杉並	99	92	1.02	攻玉社	92	65	1.42
立教池袋	98	33	2.97	文化学園大学杉並	91	74	1.23
大妻中野	95	88	1.08	サレジオン国際学園	82	75	1.09
学習院	68	41	1.66	大妻	81	60	1.35
東京女学館	67	57	1.18	学習院	81	46	1.76
鷗友学園女子	64	27	2.37	立教池袋	78	31	2.52
昭和女子大学附属昭和	59	49	1.20	東京女学館	66	51	1.29
				工学院大学附属	59	41	1.44

## 《神奈川県》

2022年度				2023年度			
学校名	受験数	合格数	倍率	学校名	受験数	合格数	倍率
洗足学園	169	76	2.22	洗足学園	163	80	2.04
慶應義塾湘南藤沢	148	41	3.61	聖光学院	158	35	4.51
聖光学院	144	35	4.11	慶應義塾湘南藤沢	106	40	2.65
桐光学園	74	51	1.45	桐光学園	71	47	1.51
逗子開成	61	28	2.18	桐蔭学園中等教育	62	42	1.48
法政大学第二	57	30	1.90	法政大学第二	61	31	1.97
桐蔭学園中等教育	55	24	2.29	逗子開成	57	27	2.11
日本大学	55	37	1.49				

## 《千葉県・埼玉県》

2022年度				2023年度			
学校名	受験数	合格数	倍率	学校名	受験数	合格数	倍率
渋谷教育学園幕張	170	35	4.86	市川	161	77	2.09
市川	145	74	1.96	渋谷教育学園幕張	137	34	4.03
東邦大学付属東邦	50	26	1.92	東邦大学付属東邦	69	37	1.86

## ◆ 公立中高一貫校

### ■ 中高一貫教育の概要（文部科学省発表資料より）

#### (1) 導入の趣旨

従来の中学校・高等学校の制度に加えて、生徒や保護者が6年間の一貫した教育課程や学習環境の下で学ぶ機会を選択できるようにすることにより、中等教育の一層の多様化を推進し、生徒一人一人の個性をより重視した教育の実現を目指すものとして、中央教育審議会第二次答申（平成9年6月）の提言を受けて、「学校教育法等の一部を改正する法律」が平成10年6月に成立し、平成11年4月より、中高一貫教育を選択的に導入することが可能となりました。

#### (2) 中高一貫教育の実施形態

中高一貫教育については、生徒や保護者のニーズ等に応じて、設置者が適切に対応できるよう、次の3つの実施形態があります。

##### ① 中等教育学校：

一つの学校として、一体的に中高一貫教育を行うものです。

##### ② 併設型の中学校・高等学校：

高等学校入学者選抜を行わずに、同一の設置者による中学校と高等学校を接続するものです。

##### ③ 連携型の中学校・高等学校：

市町村立中学校と都道府県立高等学校など、異なる設置者間でも実施可能な形態であり、中学校と高等学校が、教育課程の編成や教員・生徒間交流等の連携を深めるかたちで中高一貫教育を実施するものです。

#### (3) 制度の概要

##### ① 中等教育学校：

ア) 中高一貫教育を実施することを目的とする新しい学校種として設けられたものであり、学校教育法において、その目的、目標、修業年限、前期課程と後期課程の区分等について規定しています。

イ) 中等教育学校の教育課程については、前期課程は中学校の基準を、後期課程は高等学校の基準をそれぞれ準用するとともに、中高一貫教育校として特色ある教育課程を編成することができるよう教育課程の基準の特例を設けています。

ウ) 中等教育学校への入学については、設置者の定めるところにより校長がこれを許可することとし、この場合、公立の中等教育学校においては学力検査を行わないこととしています。

##### ② 併設型の中学校・併設型の高等学校：

ア) 学校教育法において、中等教育学校に準じて、同一の設置者が設置する中学校及び高等学校において中高一貫教育を行うことができることを規定しています。

イ) 併設型の中学校・高等学校の教育課程については、中学校の基準及び高等学校の基準をそれぞれ適用するとともに、中等教育学校と同様の教育課程の基準の特例を設けています。

ウ) 併設型中学校への入学については、設置者の定めるところにより、校長がこれを許可することとし、この場合、公立の併設型中学校においては、学力検査を行わないこととしています。また、併設型高等学校においては、当該高等学校に係る併設型中学校の生徒については入学者の選抜を行わないこととしています。

##### ③ 連携型の中学校・連携型の高等学校：

ア) 学校教育法施行規則において、中学校及び高等学校においては、高等学校又は中学校における教育との一貫性に配慮した教育を施すため、当該学校の設置者が設置者間の協議に基づき定めるところ（設置者が同一の場合には設置者の定めるところ）により、教育課程を編成することができるとともに、当該中学校及び高等学校は、両者が連携してそれぞれの教育課程を実施することを規定しています。また、中高一貫教育として特色ある教育課程を編成することができるよう、教育課程の基準の特例を設けています。

イ) 連携型高等学校における入学者選抜は、設置者間の協議に基づき編成する教育課程に係る連携型中学校の生徒については、調査書及び学力検査の成績以外の資料により行うことができるとしています。

#### (4) 中高一貫教育校の設置推移

連携型・併設型・中等教育学校の総数の推移

2010年度	271校	2016年度	320校
2011年度	273校	2017年度	325校
2012年度	274校	2018年度	329校
2013年度	270校	2019年度	293校
2014年度	274校	2020年度	296校
2015年度	282校		

## 2. 受験アドバイス

### ◆ 学校選びのポイント

日本とは環境も言葉も異なる海外生活を過ごしてきた帰国生にとって、日本(の学校生活)に慣れるというハードルを越えなければならぬため、特に学校選びには細心の注意を払う必要があります。その際にポイントとなることを挙げておきます。

#### ■ 学校情報を集める

##### (1) 学校の資料を入手する

通学可能圏内にある学校を調べるには、各出版社が出している受験情報誌を参考にしてください。所在地やアクセス方法、設置クラスやコース、教育方針、大学進学実績などの概略はこれでつかめます。

しかし、この情報だけでは他校との違いが詳細な部分まではわかりません。その学校が作成した案内書や校内の情報誌などを入手すると詳細なカリキュラムや生徒および卒業生からの生の声が聞こえてきます。

#### Q&A

**Q:** 説明会に参加すると入試で有利ですか

**A:** 説明会に出席する際、受付で受験生の氏名などを記入する場合があります。その後入試までの期間に、学校から最新の入試情報や文化祭の招待状などの「受験生へのメッセージ」が届くことがあります。そのことで本人の受験に対する気持ちが高まるという点ではメリットがあるかもしれません。しかしながら、合否はあくまでもその学校の合否基準に照らし、提出書類や入試での得点、作文・面接の結果を総合的に判断して決定されますから、説明会への参加が合否に対しての有利不利に関わることは全くありません。

#### ■ 情報を分析・検討する

##### (1) 校風を検討する

パンフレット内容、電話やメールの対応、来校者への対応、校舎の外観、生徒の雰囲気など、いろいろなところに校風は表れます。入試問題も中学校の特長が表れていますので、しっかり活用してください。一つの情報源だけではなかなか判断は困難ですから、こうした情報を各方面から十分に収集し、検討してください。最も大切なことは、生徒自身や保護者が見聞きし、肌で感じ取ることです。学校の校風は、中学生よりも高校生に顕著に表れますので、分析や検討は、中学校だけではなく、高校についてもしっかり検討してください。

##### (2) 教育方針を検討する

各都道府県で若干差がありますが、公立の中学校は、文部科学省の指導に従いほぼ同一の教育が行われています(中高一貫校を除く)。一方、私立の中学校は、各学校独自の教育方針のもと、個性ある教育を行っています。学校の教育方針は、その学校の具体的行事やカリキュラムに反映されます。学習以外の奉仕活動や芸術活動などを通して人間教育面の活動に力を入れている学校もあります。これまでの学校選びでは、学習面に重きが置かれがちでしたが、学習以外のプラスアルファの部分にも注意を払いましょう。

##### (2) 学校説明会に参加する

各学校では、生徒やその保護者のための学校説明会や入試説明会を開いています。帰国生対象の説明会も多くなりました。また、国内一般生対象の説明会でも終了後に個別相談などがありますので、積極的に参加して情報を収集するようにしてください。

説明会の実施スケジュールは、ホームページなどで告知していますので確認してください。受験校を決定する上で、一時帰国などを利用して、本人を連れて学校訪問をするのはとても大切なことです。説明会の参加が不可能な場合は、入試前に早めに帰国をして、願書を提出する際に一度訪問するののも一つの方法です。

小学6年次は何かと都合がつかないケースもありますので、小学5年次から学校訪問等のスケジュールを立てておくことで余裕を持った学校選択が可能になります。

近年、東南アジアや欧米の大都市では、中学校の先生が現地へ赴き、入試説明会を実施するケースが増えていますので、その機会も積極的に利用してください。

##### (3) 教育課程を検討する

進学校を選ぶ際には、その学校の進学状況を確認することが学校選びの大事なポイントの一つです。また、教育課程(カリキュラム・シラバス)や使用教材(教科書・問題集)を他の学校とじっくり比較することも重要なことといえるでしょう。これは多くの場合、学校の発行する要項や案内書に掲載されています。前述したようにその学校の教育方針は、具体的に年間行事、教科時間数、単位表などに表れていますので注意して案内等を検討するようにしましょう。また、大学附属を選ぶ場合には、系列大学に希望の学部があるかどうかの確認も重要です。

##### (4) 教育環境や教育施設を検討する

教育環境の一つとして、学校の立地条件があります。教育方針や進学実績が充実していても、最寄駅から学校周辺の環境が合わなければ、学校に通うこと自体が苦痛を伴うことがあります。単なる通学時間だけではなく、最寄駅から学校までの通学ルートも環境も確認しておきたい項目です。

伝統校の古い校舎には風情にも似た味がありますが、近年の新築校舎は、冷暖房は勿論のこと、ハイテク機器やセキュリティ設備が充実しているところが増えています。その他、図書館をはじめとした教育施設やスポーツ施設などの面で、目を見張る充実した設備を備えている学校もあります。帰国生にとっては、学習面以外の芸術やスポーツ活動の継続という点からも、こうした設備は学校選びの要素としておさえておきたい項目となります。なお、校舎を新築した学校は、入学金や授業料において増額や施設費の徴収など費用もそれなりにアップしてきますので、そういった点の確認も必要でしょう。

## ■ 学力・適性を分析・検討する

前述した項目は、保護者がイニシアティブをとって客観的な分析が可能ですが、子どもの学力・適性の分析は、なかなか客観的に行えないことが多いようです。過大な期待もさることながら、過小評価も子どもたちの学習意欲を損なう原因となることがあるので厄介です。やはり、その子どもの学力・適性を把握している専門家のアドバイスをもとにしなが、親子で対話を重ねていくことが望ましいと言えるでしょう。

有名難関国私立大学の高合格率を掲げ、それらの大学の入試科目を中心とした授業カリキュラムを組んでいるような中・高6年一貫教育の学校では、帰国子女選考を経て入学した帰国生に対して補講を組み、丁寧に指導している学校もありますが、日本の教科学習に慣れていない帰国生は、その補講ですら苦しむケースも少なくありません。内部進学テストの結果、学力不足を理由に併設高校や大学の進学を断念しなければならぬケースもあります。

外国での経験や習得した外国語などを大切に考えてくれる学校を選ぶのか、進度の速いカリキュラムを組んだ学校を選ぶのかは、今後の進路にも多大な影響を与えますので、子どもの経歴を踏まえた学力や適性を見極めは、非常に重要なポイントとなります。

## ■ もう一つの入試準備（大学進学）

志望校を選ぶ時には、大学進学のことも考えておく必要があります。特に、大学附属の場合は、系列の大学に志望する学部がなければ、附属校を志望校とするメリットは見当たりません。志望校の大学進学状況の詳細は、確認しておく必要があります。附属校と進学校の進学状況を掲載しておきますので、志望校と比較および検討してみてください。

ここでは、高校からの募集を行っていない学校を掲載していますので、高校募集も行っている学校は、高校入試編に掲載しています。

### 【立教池袋】

#### 《立教大学への推薦》

例年、卒業生の 85～90% の生徒が、推薦により立教大学に進学しています。

立教大学への推薦基準の概要は下記の内容になります。

1. 高等学校が定める卒業に必要な単位を修得していること。
2. 学校生活上の状況が良好であること。
3. 立教大学への進学を希望し、勉学の意志を明確にもっていること。
4. 卒業研究論文を提出し、認定されること。
5. 英語についての一定の能力を習得していること。
6. 高等学校長宛に自己推薦レポートを提出し、認定されること。

#### 《学部・学科の決定方法》

高校 3 年間の学業成績と卒業研究論文、自己推薦の各評価をポイント化して、その合計で推薦順位を決めます。その順位の上位者から自分の希望の学部・学科を選ぶことができます。

ただし、それぞれ学部・学科には推薦の人数枠があり、その枠を越えた場合は第 2・第 3 志望の学部・学科ということになります。

#### 《立教大学(2023 年度):内部進学率%》

学部	人数	学部	人数
法	名	コミュニティ福祉	名
経済	名	経営	名
社会	名	現代心理	名
文	名	異文化	名
観光	名	GLAP	名
理	名		
卒業生数	147 名	内部進学者数	128 名

## ★★ 学校選びのワンポイント ★★

学校選びは、ややもすると選ぶ順序を間違えてしまいがちです。帰国枠のある学校を第一優先事項にした学校選びはあまりお勧めできません。まずはご家庭の教育方針や本人の性格・適性に合わせて、本当に行きたい、行かせたいと思う学校を選ぶことです。帰国枠があるかどうかは、その次の確認項目にしておくべきでしょう。入学するまでは、どうしても「入りやすさ」が最重要項目に思えますが、もっとも肝心なのは「入学してから」の 6 年間、あるいは大学を含めた 10 年間の学校生活であるのは間違いありません。

### 【学習院中等科】

#### 《学習院大学(2023 年度):内部進学率 56%》

学部	人数	学部	人数
文	11 名	理	4 名
経済	53 名	国際社会	17 名
法	30 名		
卒業生数	200 名	内部進学者数	115 名

### 【学習院女子中等科】

#### 《学習院大学(2023 年度):内部進学率 45%》

学部	人数	学部	人数
文	16 名	理	11 名
経済	30 名	国際社会	8 名
法	18 名		
卒業生数	184 名	内部進学者数	83 名

### 【立教女学院】

#### 《立教大学への推薦》

以下の要件を満たす者は、立教大学に推薦入学することができます。

1. 卒業要件の充足。
2. 卒業論文を提出し、認定されること。
3. 英語についての一定の能力(英語検定 2 級程度)が認定されること。
4. 高校生活(学業・出欠状況等)が良好であること。
5. 立教大学各学部への進学の見込みおよび意欲があること。
6. 本校校長が責任を持って推薦できると判断されること。

#### 《立教大学(2023 年度):内部進学率 66%》

学部	人数	学部	人数
卒業生数	185 名	内部進学者数	122 名



帰国枠入試を実施している主要中高一貫校の2023年度大学合格実績です。以下の国公立大学・私立大学で合格者数が多い順に3校を掲載しています。高校入試を実施している中学校は、高校入試ガイドスをご参照ください。

## ■ 首都圏

【国公立大学】 東京・東京工業・一橋・筑波・埼玉・千葉・お茶の水女子・東京外国語・東京農工・横浜国立・東京都立・横浜市立

【私立大学】 早稲田・慶應義塾・上智・東京理科・明治・青山学院・立教・中央・法政・学習院

### 《東京都》

#### 【東京都立川国際中等教育】

国公立大学		私立大学	
東京農工	4	明治	53
東京都立	4	早稲田	41
東京	3	中央	41

#### 【東京学芸大学附属国際中等教育】

国公立大学		私立大学	
一橋	5	早稲田	46
東京	3	上智	32
東京外国語	3	慶應義塾	31

#### 【跡見学園】

国公立大学		私立大学	
		明治	11
		学習院	11
		早稲田	5

#### 【穎明館】

国公立大学		私立大学	
東京都立	5	中央	43
横浜市立	4	明治	37
横浜国立	4	法政	36

#### 【鷗友学園女子】

国公立大学		私立大学	
東京外国語	8	明治	113
東京工業	8	立教	104
お茶の水女子	5	上智	95

#### 【大妻】

国公立大学		私立大学	
千葉	6	明治	74
東京都立	5	立教	57
東京外国語	3	法政	57

#### 【大妻多摩】

国公立大学		私立大学	
東京外国語	2	中央	24
東京都立	2	法政	18
横浜国立	1	立教	13

#### 【大妻中野】

国公立大学		私立大学	
東京都立	1	立教	24
		中央	18
		明治	11

#### 【海城】

国公立大学		私立大学	
東京	43	早稲田	140
東京工業	12	慶應義塾	109
一橋	10	明治	85

#### 【暁星】

国公立大学		私立大学	
東京	5	明治	51
筑波	4	早稲田	47
東京工業	2	慶應義塾	40

#### 【共立女子】

国公立大学		私立大学	
東京外国語	2	立教	58
お茶の水女子	2	明治	37
埼玉	2	法政	35

#### 【恵泉学園】

国公立大学		私立大学	
東京農工	3	立教	37
千葉	1	明治	27
東京都立	1	青山	22

#### 【攻玉社】

国公立大学		私立大学	
東京	13	明治	137
横浜国立	12	東京理科	101
東京工業	10	早稲田	96

#### 【香蘭女学校】

国公立大学		私立大学	
東京外国語	2	立教	101
東京	1	早稲田	11
千葉	1	上智	7

#### 【実践女子学園】

国公立大学		私立大学	
		法政	13
		立教	10
		中央	10

#### 【品川女子学院】

国公立大学		私立大学	
東京都立	3	立教	58
千葉	2	明治	34
東京外国語	2	法政	30

#### 【渋谷教育学園渋谷】

国公立大学		私立大学	
東京	40	早稲田	119
一橋	10	慶應義塾	85
横浜国立	8	明治	58

#### 【頌栄女子学院】

国公立大学		私立大学	
一橋	9	上智	150
東京	5	明治	133
千葉	5	慶應義塾	131

【昭和女子大学附属昭和】

国公立大学		私立大学	
筑波	1	青山学院	23
東京外国語	1	上智	17
東京都立	1	立教	16

【白百合学園】

国公立大学		私立大学	
東京	7	上智	59
千葉	3	早稲田	56
一橋	3	慶應義塾	41

【聖心女子学院】

国公立大学		私立大学	
東京	3	上智	23
東京都立	1	慶應義塾	22
		立教	18

【聖ドミニコ学園】

国公立大学		私立大学	
		法政	7
		立教	7
		青山学院	4

【高輪】

国公立大学		私立大学	
東京工業	7	明治	115
東京都立	4	東京理科	72
千葉	3	法政	64

【田園調布学園】

国公立大学		私立大学	
横浜市立	3	明治	49
東京外国語	2	中央	33
東京農工	1	青山学院	32

【東京女学館】

国公立大学		私立大学	
東京外国語	3	立教	45
東京	1	明治	39
横浜市立	1	法政	34

【東京都市大学等々力】

国公立大学		私立大学	
横浜国立	8	明治	128
東京都立	6	中央	106
横浜市立	6	法政	94

【東京都市大学付属】

国公立大学		私立大学	
東京工業	10	東京理科	81
一橋	9	慶應義塾	59
東京	7	中央	55

【東洋英和女学院】

国公立大学		私立大学	
東京外国語	2	立教	48
千葉	2	明治	34
東京	1	青山学院	34

【三輪田学園】

国公立大学		私立大学	
東京都立	1	法政	13
		明治	6
		立教	6

【明星】

国公立大学		私立大学	
一橋	2	中央	39
東京農工	2	法政	35
千葉	1	明治	18

【八雲学園】

国公立大学		私立大学	
横浜国立	1	法政	6
		青山学院	4
		学習院	3

【山脇学園】

国公立大学		私立大学	
東京	1	法政	62
筑波	1	明治	45
東京外国語	1	立教	45

【早稲田】

国公立大学		私立大学	
東京	39	早稲田	253
東京工業	10	慶應義塾	72
一橋	5	東京理科	54

《神奈川県》

【神奈川大学附属】

国公立大学		私立大学	
横浜国立	9	明治	85
東京都立	6	法政	58
東京工業	3	東京理科	48

【鎌倉女学院】

国公立大学		私立大学	
横浜国立	3	明治	43
千葉	2	立教	39
東京外国語	2	早稲田	37

【カリタス女子】

国公立大学		私立大学	
東京	1	明治	29
筑波	1	上智	27
お茶の水女子	1	中央	18

【公文国際学園】

国公立大学		私立大学	
東京	5	明治	43
横浜国立	4	早稲田	40
東京工業	3	慶應義塾	38

【自修館中等教育】

国公立大学		私立大学	
横浜国立	2	青山学院	16
東京	1	明治	14
一橋	1	中央	10

## 【湘南白百合学園】

国公立大学		私立大学	
横浜国立	2	立教	42
東京都立	2	慶應義塾	27
千葉	2	青山学院	25

## 【逗子開成】

国公立大学		私立大学	
横浜国立	21	明治	155
東京	7	東京理科	105
東京工業	7	中央	68

## 【聖光学院】

国公立大学		私立大学	
東京	78	早稲田	175
横浜国立	9	慶應義塾	118
東京工業	6	東京理科	57

## 【清泉女学院】

国公立大学		私立大学	
東京外国語	1	上智	24
一橋	1	明治	17
横浜国立	1	立教	17

## 【洗足学園】

国公立大学		私立大学	
東京	22	明治	153
横浜国立	16	早稲田	127
筑波	6	上智	108

## 【捜真女学校】

国公立大学		私立大学	
東京工業	1	明治	8
東京都立	1	青山学院	8
		立教	7

## 【桐蔭学園中等教育】

国公立大学		私立大学	
東京	5	明治	72
横浜国立	5	東京理科	42
東京工業	3	中央	41

## 【聖園女学院】

国公立大学		私立大学	
東京	1	上智	10
横浜国立	1	青山学院	9
		明治	8

## 【森村学園】

国公立大学		私立大学	
東京	1	中央	7
お茶の水女子	1	立教	6
東京都立	1	早稲田	5

## 【横浜雙葉】

国公立大学		私立大学	
横浜国立	5	明治	46
筑波	3	立教	40
お茶の水女子	3	上智	38

## ■ 東海圏

【国公立大学】 東京・東京工業・一橋・京都・大阪・神戸・名古屋

名古屋工業・名古屋市立・愛知教育・信州・岐阜・静岡・三重

【私立大学】 愛知・愛知学院・中京・名古屋学院・南山・名城・関西学院

関西・近畿・同志社・立命館・早稲田・慶應義塾・東京理科

## 《愛知県》

## 【愛知淑徳】

国公立大学		私立大学	
名古屋市立	9	南山	92
名古屋	7	立命館	81
三重	4	名城	62

## 【海陽中等教育】

国公立大学		私立大学	
東京	8	早稲田	22
京都	2	立命館	20
一橋	2	東京理科	15

## ■ 関西圏

【国公立大学】 東京・東京工業・一橋・京都・大阪・大阪教育・神戸・滋賀

京都府立・大阪公立・神戸市外国語・兵庫県立・和歌山

【私立大学】 関西学院・関西・京都産業・近畿・甲南・同志社・立命館・龍谷

早稲田・慶應義塾・東京理科

## 《大阪府》

## 【高槻】

国公立大学		私立大学	
大阪公立	28	立命館	96
京都	27	同志社	79
大阪	25	関西学院	50

## 《兵庫県》

## 【兵庫県立芦屋国際中等教育】

国公立大学		私立大学	
大阪公立	4	近畿	18
大阪	3	関西学院	17
神戸	2	立命館	15

## 【小林聖心女子学院】

国公立大学		私立大学	
大阪	2	関西学院	20
京都	1	同志社	10
神戸	1	近畿	6

## 【神戸国際】

国公立大学		私立大学	
神戸	1	近畿	7
		同志社	4
		京都産業	4

## 【松蔭】

国公立大学		私立大学	
		関西	10
		甲南	6
		関西学院	4

## ■ 面接試験のポイント

入試における面接試験の評価ポイントは、一般的に次のようにまとめることができます。

### 《 身だしなみ 》

外見だけで人を判断するべきではありませんが、外見がその人の第一印象を決める重要ポイントであることも事実です。日本の文化、習慣＝常識として、公の場に出る際の服装や頭髪などについては、その場にふさわしい身だしなみを心がけましょう。それが相手に対する敬意を示すことにもなるのです。

### 《 面接官はここを確認する …… 生徒 》

- (1) 学力検査や調査書では測れない受験生の人格や性格、意欲などを見る。
- (2) 事前に提出した調査書の書類などにある疑問点を解消する。
- (3) 受験生の入学する意志を直接確認する。
- (4) 受験生が校風になじめるか、校則を守れるかなどを確認する。

### 《 面接官はここを確認する …… 保護者 》

- (1) 家庭環境や親子関係から、受験生の人格や性格への影響をみる。
- (2) 保護者の校風や教育方針の理解度から、受験生の学校に対する適合性をみる。

保護者同伴の面接において保護者が気をつけるべきポイントとしてはいくつかありますが、最も気をつけるべき点は、面接官が受験生に対して質問したことに、助け舟のつもりで横から答えてしまわないようにするという点です。また、基本的に、保護者も返答は簡潔にするとともに、家庭円満で受験生が明るくのびのびと成長している印象を与えることが第一です。なお、入学に際しては、保護者が学校の教育方針についてきちんと理解しており、それについて基本的な同意があることが前提となっています。このことに抵触するような発言は、もちろん控えるべきでしょう。

### ★★ 面接対策とは…? ★★

「面接は苦手」という受験生は多いようです。また、面接練習ということで、予想される質問に対しての答えをあらかじめ暗記してくる受験生もいますが、一般的にこれはあまり良い対策とは言えません。もちろん、ある程度の準備は必要ですし、想定問答の準備、練習自体が全く無意味だというわけではありません。ただ、答えを暗記する必要はないということです。面接官は毎年、何十人、何百人と生徒面接を経験している先生です。質問に対する答えを聞けば、それが暗記してきたものかどうかはすぐにわかります。そのようなとき、面接官は、受験生の本当の姿を知るために、志望動機や海外生活とは関係のない、全く予想もしていないようなことを質問したり、ひとつのテーマに絞り込んで、そのことについてどんどん掘り下げて質問してきたりします。ですから、いくら事前に答えを準備してみてもすべてについて準備しきれるものでもないので、大事なことは、答えを用意して暗記することではなく、これまでの海外生活での豊かな経験や体験を踏まえて自分なりの考えや意見をしっかりと伝えるようにしておくことです。そのためには、これまでの海外での生活を親子で振り返るような機会を設けて、しっかりと確認することをお勧めします。また、残された海外生活をさらに前向きに、そして充実させていくことがとても大事です。

## ■ 作文試験のポイント

入試における作文の評価試験ポイントは、一般的に次のようにまとめることができます。

### 《 文章表現分野 》

- (1) 原稿用紙の使い方: 句読点・記号・符号が適切か、字数制限が守られているかなど。
- (2) 文字の書き方: 仮名づかい・送りがな・漢字等が正確か、文字が読みやすく丁寧かなど。
- (3) 語句の使い方: 主述の呼応や修飾語と被修飾語の関係が適切か、文体の統一など。

### 《 文章構成分野 》

- (1) 取材の仕方: 課題に合っているか、材料・資料が適切に取り上げられているかなど。
- (2) 構成の仕方: 段落区分・段落の順序・展開は適切か、書き出し・結びの工夫など。
- (3) 論旨のまとめ方: 筋道の明確さ、主題がまとまっているか、説得力があるかなど。

作文を課すということは、受験生の何を見ようとしているのでしょうか。もちろん基本的な上記のようなことは前提として評価対象になるでしょう。しかし、当然その内容がその高校に入学する生徒としてふさわしいものかどうかという視点で作文を評価していることは間違いないでしょう。そういう意味で、内容的には次の2点を絶対に守るべき事項として念頭に入れておきましょう。

- ① 課題に対して、前向きかつ建設的な姿勢で意見や考えを述べること
- ② 海外での経験や体験から得たものを中学生活に積極的に生かしていこうとする姿勢で書くこと

この2点は、しっかりと頭に入れて作文を書いていく必要があります。どんなにきれいな字で誤字脱字がなく、文法的な誤りもなく、段落構成がしっかりしていようと、この2点をはずしている作文は不可です。また、内容に深みのない作文も評価は低くなってしまいます。内容の深みというのは、常識的、表面的で、自分の本当の考えではない内容のことを指します。

たとえば「戦争をなくすには」という課題があるとします。自分の頭でも何も考えていない人は、大体「暴力や命を奪うという行為はいけないので話し合いで解決すべきだ」という結論を繰り返し述べることとなります。しかし、それはあまりにも当たり前で、つまり「常識的」で、「道徳的」で、「表面的」な内容の作文であるといわざるを得ません。深みを出すためには、そこに自分の経験を踏まえ、実際に生きている人間の感情というものを深く考えた上で作文を書いていかなければなりません。その結果として、先と同様な結論「話し合いで解決すべきだ」というものであったとしたら、その作文は先の作文とは全く異なる深みのある作文だということができるでしょう。

この例で伝えたいのは、作文においては、正解＝正しいことを述べる必要はないということです。もちろん、「戦争は仕方がないのでどんどんやるべきだ」という結論は論外ですし、「いくら防ごうとしても防ぎようがない」という結論も、先の「前向き」「建設的」という基本に照らしてみると、その評価は好ましいものとはならないでしょう。大切なのは、自分の具体的な経験を踏まえて自らがその問題を前向きに考えるという姿勢で書くということです。作文は単純な「正解」を求めているわけではなく、「あなた」の個性的で前向きな考えや意見を求めているのです。

## ◆ 入試準備のポイント

一般に中学入試の場合、ご両親の果たす役割は非常に大きいと言えます。特に海外にあっては、まず本人が中学入試をするという自覚を持つことが難しい上に、通っている学校によっても、また地域に塾などの学校外の教育機関があるところ、全くないところなど、個々の教育環境が異なりますので、海外からの受験は、全般に非常に厳しいものになると言わざるを得ません。

本人が入試に向けて一生懸命がんばれるかどうかは、ひとえにご両親の具体的なサポートがあるかどうかにかかっていると、言っても過言ではありません。

ご両親の果たすべき役割(入試準備)を簡単に以下にまとめましたので参考にしてください。

### ご家庭の教育方針を充分に話し合っ て明確にし、ご両親がそれを共有する

ご家庭の教育方針とは、子どもを育て教育していく際に最も大切にすべきことは何か、優先順位として何を第一におき、何に目をつぶるかといった具体的な行動の指針になるべき根本になります。これが明確でないと、あふれる情報の中で必要な情報の取捨選択ができず、対応がぶれてしまい、子供への影響も良いものとはならない可能性が大きくなります。

また、話し合いを通じて、お父さん、お母さんの間での意見の食い違いなども明らかになるかもしれません。その話し合いを通して、中学入試に対するご両親の確固たるコンセンサスがとれ、今後入試までのより具体的な教育方針が定まっていくこととなります。その際には、「昔は〇〇だった」という古い情報ではなく、最新の情報をベースに話し合ってください。

### 本帰国の時期、帰国先をいくつか想定し、それに対応した準備を子どもとともに検討する

お仕事の都合で、本帰国の時期が延期になったり、帰国予定先が変更になったりする可能性をなくすことはできません。しかし、何も決めないでいては、間違いなく最後にあわてることになってしまいます。可能性の高い順に、この場合はこの形で、もしもこうなったら、こういう対応でいこう、といった対策をある程度立てておくべきです。

それ以外の全く予想もつかないようなことになっても、その時は想定した形(考え方)に準ずる対応でいこう、といった共通理解を子どもも含めて事前に確認しておくことは大切です。予定に沿って準備をしていけば、変更になった場合でも修正の幅は小さくすみます、あの時あれをやっていたら…という後悔がなくなるでしょう。

### 学校情報を収集し、子どもに伝えるべき内容を精選し、学習の動機付けになるように伝え方を工夫する

帰国枠がある学校から学校選択を始めるのではなく、ご家庭の教育方針や子どもに合った学校かどうかを第一の前提として、ある程度の数の学校を候補にあげましょう。

気を付けるべきことは、子どもにとって魅力的かどうかも考慮してあげることです。制服、校舎や部活など、大人から見ると些細なことのように思われることでも、子どもにとっては学校選択の上で大きな要因になっていることも見逃してはいけません。

もちろんそれだけで決めるわけではありませんが、こういったことを無視してしまうのでは、子どものこれからの入試に向けた学習の動機付けが薄くなる可能性があります。

全体を把握できるご両親だからこそ、バランスをしっかりと考慮した学校を選び、子どもにプラスの情報を与えていくということが肝要です。情報の一方的な押し付けではなく、子どもと一緒に、子どもが主体的に選んでいくというスタイルを演出することです。

### 本当に受験するかどうかを真剣に判断し、その結論をご家族で遵守する

ある時点(多くの場合は小6の夏休みの前後)で最終結論を出す必要があります。いい加減な準備で「だめもとで受けてみよう」的な中学受験は、たとえ帰国枠入試であっても安易なものではありません。

最終結論を出す際には、国・私立中学受験をやめた場合に、帰国予定地域の公立中学の様子、最近設置が進んでいる公立の中高一貫校や編入試験の状況もできる限り調べて、どのような選択があるのかについての検討材料も収集し、確認しておくべきです。

子どもそっこのけでご両親だけが突っ走る受験も好ましくありませんが、中途半端な準備や意識の中で受験に突入していくというのも、あまり良い結果を生むことはないようです。目に見える合否の結果として、たとえどちらになっても、受験に向けた学習経験そのものが、本人にとってプラスになったと言える準備をご両親で演出してください。ゴールは、合格発表だけにあるのではなく、その先の子供の姿にあるのです。

### ★★ 願書に関する確認事項 ★★

願書の取り寄せ、出願はまさにご両親の役割です。早め早めに手配していくことが大切となります。中学受験は、願書を作成するところから入試が始まっていると考えて間違いありません。

特に海外からの出願においては、在留証明や帰国枠受験のための資格を証明するための書類など、国内一般のものよりも準備すべきものは多くなります。さらに、学校以外での活動やその成果を目に見える形でまとめて提出することが求められたり、現地校やインター校に通っていれば、成績などに日本語訳をつけたりしなければならない場合も出てきます。これらは受験校にもよるので一概に必要なとは言えませんが、少なくとも早めに調べておかないと、対応が後手後手に回ってしまいます。

願書の提出方法も確認しておきましょう。最近ではインターネット出願などの方法も増えてきていますが、まだ郵送や窓口出願などの学校も多くあります。そういう場合、基本的には代理出願は避けるべきです。安易にご親戚に依頼しないほうが良いでしょう。これまででも、出願時に詳細を聞かれたり、記入ミスがあったりした際に対応できない、日々の生活が忙しく、うっかり出願締め切りを過ぎてしまった、といったトラブルが起きています。やむを得ず依頼しなければならないような場合でも、最後はご両親が責任を持って確認していくことが大切です。

## ◆ 入試直前のポイント

海外・帰国生の受験は年内からスタートします。いくつかの学校では、10月ごろから海外会場での入試が実施されていますし、日本国内でも早い学校では11月中旬から帰国枠入試が始まります。つまり、受験校によっては、入試は決して来春の話ではなく、あと3～5ヶ月後(7月末現在)に迫っているということになります。9月以降はまさに願書を取り寄せ、必要書類を整え、出願する計画を組んでいく必要があるわけです。

以下では、一般には12月～2月上旬に集中している日本国内の入試に向けて、これ乗り越えるためにどのようなことに注意が必要なのか、いくつか具体的に注意事項を取り上げて簡単に解説します。

### (1) 受験スケジュールを確定させる

入試日や合格発表日以外に、出願期間や併願校の入学手続き締め切りなどにも注意が必要です。次々に合格という「うれしい知らせ」は、入学金等を次々と納入しなければならぬという現実を引き起こすことがありますので、スケジュールの確認をしておきましょう。

### (2) 帰国フライトを手配する

この時期(12月～1月)は、一般にどこの国からの帰国便も混雑が予想されます。受験スケジュールが確定しないとフライトの手配も遅れます。遅くとも時差や温度差を考えて、1週間前には帰国して、日本で入試の最終準備をしっかりしてください。

### (3) 帰国先の住居(実家・ホテル・ウィークリーマンションなど)を手配する

この時期(1月～2月)は、ホテルやウィークリーマンションも地方からの大学受験生などで混雑します。受験スケジュールをできるだけ早く決定し、予約が必要であるならば早めに申し込むようにしましょう。なお、基本的には、入学手続き終了まではご両親のどちらかが日本に滞在している必要があります。

### (4) 入試直前の追い込み、調整のために入試直前講習への参加の手配をする

この時期は、帰国先の地元の塾でも入試の追い込みの時期になっていますので、突然塾を訪ねても断られるケースがあります。春や夏の講習など過去に参加したところにあらかじめ頼んでおくとうれしいでしょう。

基本的には以上のようなことをこなしつつ、願書の作成や提出、子どもを入試会場に連れて行ったりしなければなりません。中にはこの合間に本帰国後の住居を探してお母様もいます。子どもの健康管理も大切な仕事のひとつですが、本当は何よりお母様自身が倒れないように自分の体調管理をしっかり行うことが最も大切となります。時差や季節の違いなどに加え、疲労や極度の精神的ストレスなどから来る体調不良でお母様が倒れてしまつては元も子もありません。こうした際のお父様の具体的、精神的サポートは予想以上に大切で、入試突破に向けた大きなファクターともなります。

以上、帰国中学入試は家族全員でしっかりコンセンサスをとって取り組んでいかなければならないということを感じていただけたでしょうか。海外からの中学入試の成功か失敗かという判断は、決して合否結果だけではない、ということを感じていただけたのではないのでしょうか。

入試を通して家族みんなが共有する貴重な体験をこれからの財産にしていだければと思います。

4月には、希望の学校の制服を着たお子さんと、家族みんなで近くの公園の桜を背景に、「にっこり笑顔の記念写真」といきたいものです。

### (5) 弟妹がいる場合、この期間の弟妹の面倒をどうするか具体的に決めておく

お母さんと一緒に一時帰国して公立の小学校に体験入学させる、あるいはお父さんと滞在国に残る、その場合の食事や洗濯などの身の回りの世話をどうするかなど、早めに、そして具体的に決めておくことが大切です。

### (6) お金の準備をする

航空運賃、ホテル代、交通費、食費から始まり、入試直前講習参加費用、冬用・面接用の衣服購入費用(親・子)、床屋・美容院、クリーニングなどなど、予想外の出費がかさみます。入学金、授業料、施設保証金など、合格後の出費も当然ありますので、しっかり計算して日本の銀行口座に現金を用意しておきましょう。

### (7) 日常生活必需品について

いざウィークリーマンションやホテルに宿泊する場合、必要になる日用品が多く出てくるものです。できれば次のようなものは持参したほうが良いでしょう。

筆記用具一式(定規、コンパス、分度器、のり、はさみ、ホッチキス、クリップ等々)、保険証、予備の眼鏡、印鑑、うがい薬、常用の風邪薬、頭痛薬、体温計、解熱剤、リップクリーム、絆創膏等々(当然帰国後に購入してもかまいませんが、帰国後はかなり多忙でそういった時間をもてないことがありますし、物によってはコンビニ等では購入できないということもあります。)

### (8) お父様の帰国を検討してみる

保護者面接がある場合、なるべくお父様の帰国も可能になるように努力してください。毎年多くのお父様が仕事に絡めて一時帰国されているようです。

### 3. 学習アドバイス

帰国中学受験に向けて、海外ではどんな学習をすれば効果的なのか、過去問をどのようにして入手し、いつまでに終了しておくべきか等々、具体的にその学習方法を考えると難しく、煩雑であることがわかります。これらについての考え方や方法論はいくつもありますが、ここではその中のいくつかのパターンを取り上げておきます。

#### ◆ 学習のポイント

第一志望校、そして第二志望校以下の受験校の入試スタイルを確認してください。帰国枠か一般入試か、入試科目に作文・面接試験はあるか、志望校群の入試科目に著しい隔たりはないか、帰国枠の入試問題のレベルは一般と比較して易しいのか、同レベルなのか、などを確認して今後の学習スケジュールを組み立てていく必要があります。

#### (1) 帰国枠がなく、一般入試と同じ入試問題

#### (2) 帰国枠はあるが、一般入試と同じ入試問題(合格基準点を若干考慮する)

このタイプの中学校の入試科目は、国語・算数・理科・社会の4科目が中心になります。学校により出題傾向が異なりますので、市販されている過去問の3年分を中心に、傾向および難易度を確認・分析してください。

入試対策としては、地域に中学入試に対応したコースを設置している塾があれば、通ったほうがよいでしょう。通常はそこでは国内の一般入試とほぼ同様のスケジュールやカリキュラムが組まれ、同じテキストを使って指導しています。それにあわせて学習に集中し、定期的な学力および志望校判定試験で自分の位置を確認しながら、国内の一般受験生と同レベルの質と量を確保した学習が必要となります。特に理科と社会は、自然環境や身近な動植物、社会の仕組みや文化など

が異なりますので、日本国内で準備をする以上の時間がかかると想定していた方が無難でしょう。

そういった塾がない地域でこのタイプの入試を受ける場合は、本人、ご家族ともかなり強い意志が必要となります。普段は通信教育や参考書、問題集を使って自ら学習を進め、長期の休みには一時帰国して講習などに積極的に参加する以外に方法はありません。ただし、受験までのスケジュールをしっかり立てて管理実行することと、質問がある場合にすぐに質問できる環境は必要です。通信教育を利用することも良いですが、可能であれば学校の先生やご両親の協力を求めましょう。

#### (3) 帰国枠があり、入試科目が国語・算数で、一般入試とは試験内容が異なる

このタイプの中学校の国語・算数のレベルは、学校によって異なります。中学入試の基本問題レベルから一般入試とほぼ同レベルまで幅広く、入試日が一般入試に近づくにつれて、レベルも一般入試に近づく傾向があります。

一般入試に近いレベルの問題を出題する中学校は、前述の(1)(2)と同様の準備が必要になります。一方、基本レベル

を中心に出题する中学校は、難度の高い問題に手をつけるよりは、基本的な問題に集中し、その範囲を100%得点できるように繰り返し演習していく方が合格に近くなります。

基本であれ応用であれ、中学入試問題は、教科書の知識だけでは解けない問題が中心となっていますので、早めに準備をスタートさせてください。

#### (4) 帰国枠があり、入試科目として国語・算数に加え、英語の試験がある

国語・算数は、(3)と同様に学習してください。英語の試験の対策として、過去問が入手できれば、出題傾向に沿った学習が効果的になります。英検やTOEFLを利用する場合は、ある程度の取捨選択が必要になります。

一般的に、現在身に付いている英語は、会話が通じるということ優先して習得した英語ということになるでしょうから、文法や文章表現としての英語(正確なスペル、抽象概念の単語量など)の力をきちんとつけていく必要があります。それに

は、難関私立高校入試用や大学入試用の問題集などで文法事項をチェックするのも効果的です。近年の長文読解問題では、英字新聞から出題されるケースも見られますので、英字新聞を読むという習慣も身につけたいところです。

ただし、中には英語よりも国語・算数に比重を置く学校もあるので、事前に教科比重については確認しておくことが大切です。

#### (5) 帰国枠があり、入試科目が英語(Essayを含む)

このタイプの入試は、現地校やインター校の出身者が対象になります。英語については、(4)と同様に進めてください。このケースでは、幅広い文章読解能力(Reading)と文章作成能力(Writing: Essay)が求められます。

これまでの入試問題を見ると、文法力、語彙力ともに英検

準一級レベルの力が要求されています。その上で、Essayなどの対策として、添削指導を受けていくことができればベストです。なお、このケースでは、面接試験として、英会話やディスカッション・ディベートが加わることも多いので、英語を使っている表現力を磨いておく必要があります。

#### (6) 帰国枠があり、入試科目が適性試験・面接

このタイプの中学校では、過去問が非公表になっているところが多く、その場合、具体的な問題の傾向に沿った対策をとることは難しくなります。過去問がない場合には、具体的な学習の方向性が見えてこないために非常に不安になりますが、これは他の受験生も同じ条件です。対策としては、A.国語・算数の基本的な学習をしっかりと行う。B.学校での勉強に真剣に取り組む。という2点です。現地校、インター校に通う生徒も学年相当の漢字や計算はできるようにしておきましょう。

大切なのは、その学齢(12歳)として持つべき「教養」を身に付けておくことです。「教養」とは、学科に限らず、困難に直面したときの行動力、未知に対しての対処方法などを導く下地になるものです。いわゆる暗記をしたり、公式を使って正答を導いたりするものとは異なる力ですが、それでもこの力の基礎となるのは、やはり学校で習っている事項です。これは自分の判断や考えを確立するための基本になりますから、決しておろそかにしないことです。